

執筆者紹介

- 立命館大学教授 梯 明 秀
- 立命館大学教授 阿 部 矢 二
- 立命館大学教授 淡 川 康 一
- 立命館大学専任講師 山 田 邦 臣
- 立命館大学助教授 松 田 弘 三

立命館大学経済学会委員

- 井 上 巖 次 郎
- 梯 明 秀
- 祭 原 光 太 郎
- 高 橋 良 三
- 津ノ国長四郎
- 関 弥 三 郎

編集後記

十三号台風はついに近畿全域に亘って猛威を逞しくし、学会関係者の中にも多数の被害者を出した。謹んで御見舞を申しあげるとともに、これが単なる天災といつてすましてしまえるものでなく、この国の政治の内ひそむ欠陥を顕わにしたものとして、この機会に深くお互いの反省を期待するものである。

紋切型の言い方ではあるが、時はまさに燈下親しむべき候である。本号所掲の各作品はそれぞれ良夜の精説に値いするものである。いよいよ後期に入ると、学園祭その他の行事も多いことであるが、学会としても、研究会、見学会と種々計画している。会員諸君の積極的な参加を望む。

なお、学生版のための応募原稿が意外に少かったのはまことに残念である。目下、選考中で結果については、未だ発表しうる段階に達していない。今後は、自己の勉強の成果を発表する熱意を示してもらいたい。

(T)

★毎々、機関誌を御恵投下さいまして洵にありがとう存じます。交換誌の御送附先きは、必ず左記に願ひ上げます。念のため。

京都市上京区広小路通寺町東入ル
立命館大学経済学部研究室 宛

振替口座番号 京都二三〇六八番
京都市西陣局区内広小路寺町東入
立命館大学経済学会 宛

昭和二十八年十月二十日印刷
昭和二十八年十月二十五日発行

定価 百二十拾円

立命館経済学 第二巻・第五号

編集者 立命館大学経済学会

(高橋良三)

印刷者 中村勝治

京都市上京区廣小路通寺町東入ル
立命館大学 學内

発行所 立命館大学人文科学研究所

京都市下京区七條御所ノ内東町

印刷所 中村印刷株式会社

THE RITUMEIKAN ECONOMIC REVIEW

The Bi-monthly Journal of Ritumeikan University

Vol. II

October 1953

No. 5

CONTENTS

Treatises :

Akhide Kakehasi : Sensitive Intuition of "Eine ungehaure
Warensammlung."(1)

Yaji Abe : Antagonistic Relation between Profit and
the Life of People.(31)

Kôiti Awakawa : The Economic Thoughts in Our ToKugawa
Era.(48)

Memoir :

Kuniomi Yamada : An Inquiry into Hicks' Conception of
Substitution and Complement.(73)

Lecture :

Hirozô Matuda : A History of the Origin of the Surplus-Value
Theory. (I)(95)

The Ritumeikan University Economic Society
KYOTO, JAPAN